



2023年3月期 第3四半期 連結決算説明資料

2023年1月31日

東京証券取引所プライム市場
証券コード:6737

EIZO株式会社

注意事項

当資料には、当社または当社グループ会社の業績見通し、計画、方針、経営戦略、予定等、将来に関する記述が含まれています。これら将来に関する記述は、為替変動や需要変動、調達リスク、その他の既知・未知のリスクや不確定要素を含みますので、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、実体的に異なる場合があります。

また、当社は法令に定めのある場合を除き、このような将来予測に基づく記載を更新する義務を負いません。

※資料内の会計期間の表記は“Q”および“F”を用いております。2023年3月期第3四半期累計は“22Q3累計”、第3四半期(3ヶ月)は“22Q3”、2023年3月期は“22F”となります。

市場区分一覧

市場区分	使用用途・場所
B&P (Business & Plus)	金融機関、公共機関、文教施設、CAD、商業施設、一般オフィス、ホームオフィス
ヘルスケア (HC)	診断・検査、治療・手術、医療IT
クリエイティブワーク (CW)	映像制作、3DCG、プロフォト、ハイアマチュアフォト、イラスト、デザイン、出版・印刷
V&S (Vertical & Specific)	社会インフラや産業機器で求められる多種多様な用途 航空管制、船舶、監視、MIL規格対応、その他産業用途(タッチモニター含む)
アミューズメント (AMU)	パチンコ・パチスロ遊技機に搭載される液晶モニター
その他 (OTH)	保守サービス及びソフトウェアの受託開発

本資料に関するお問合せ 担当：IR室 恵比寿(えびす) TEL：076-275-4121

1. 2023年3月期第3四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2023年3月期第3四半期 決算概要

ヘルスケア・V&Sの販売が好調に推移 アミューズメントの減収により減収減益

□ 売上高：571.3億円(前年同期比 ▲65.7億円)

- アミューズメント：42.5億円(同 ▲112.7億円) 前期に集中した入替需要の反動減による
- B&P/ヘルスケア/クリエイティブワーク/V&S：492.5億円(同 +41.7億円)

当期は国内外の強い需要に対し製品供給が満たせていない状況からスタートしたものの、100%自社開発・生産の強みを活かした機動的な生産体制により供給を進め、販売増加円安も売上高増加に寄与

□ 営業利益：27.0億円(前年同期比 ▲57.0億円)

- 売上総利益：アミューズメント減収及び材料価格上昇・ドル高によるコスト増の影響により減益

□ 親会社株主に帰属する四半期純利益：38.9億円(前年同期比 ▲28.3億円)

- 特別利益：投資有価証券売却益 19.4億円を計上

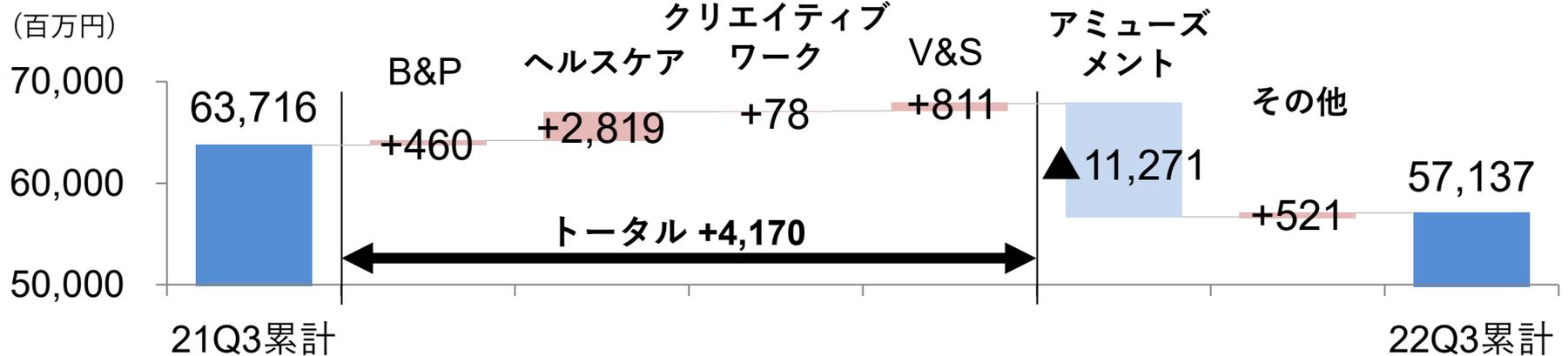


連結損益計算書

(百万円)

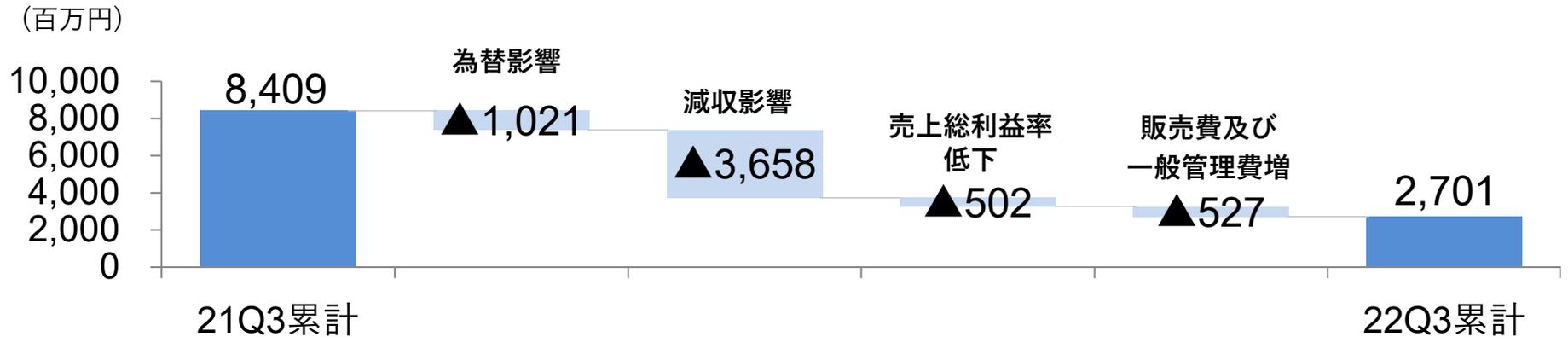
	21Q3累計	22Q3累計	前年同期比
売上高	63,716	57,137	89.7%
売上総利益	22,916	17,736	77.4%
売上総利益率	36.0%	31.0%	▲4.9pt
販売費及び一般管理費	14,506	15,034	103.6%
営業利益	8,409	2,701	32.1%
営業利益率	13.2%	4.7%	▲8.5pt
経常利益	9,159	3,577	39.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,735	3,898	57.9%
為替レート (22Q3累計平均) :USD	111.14円	136.49円	+25.35円
為替レート (22Q3累計平均) :EUR	130.60円	140.60円	+10.00円

売上高増減要因



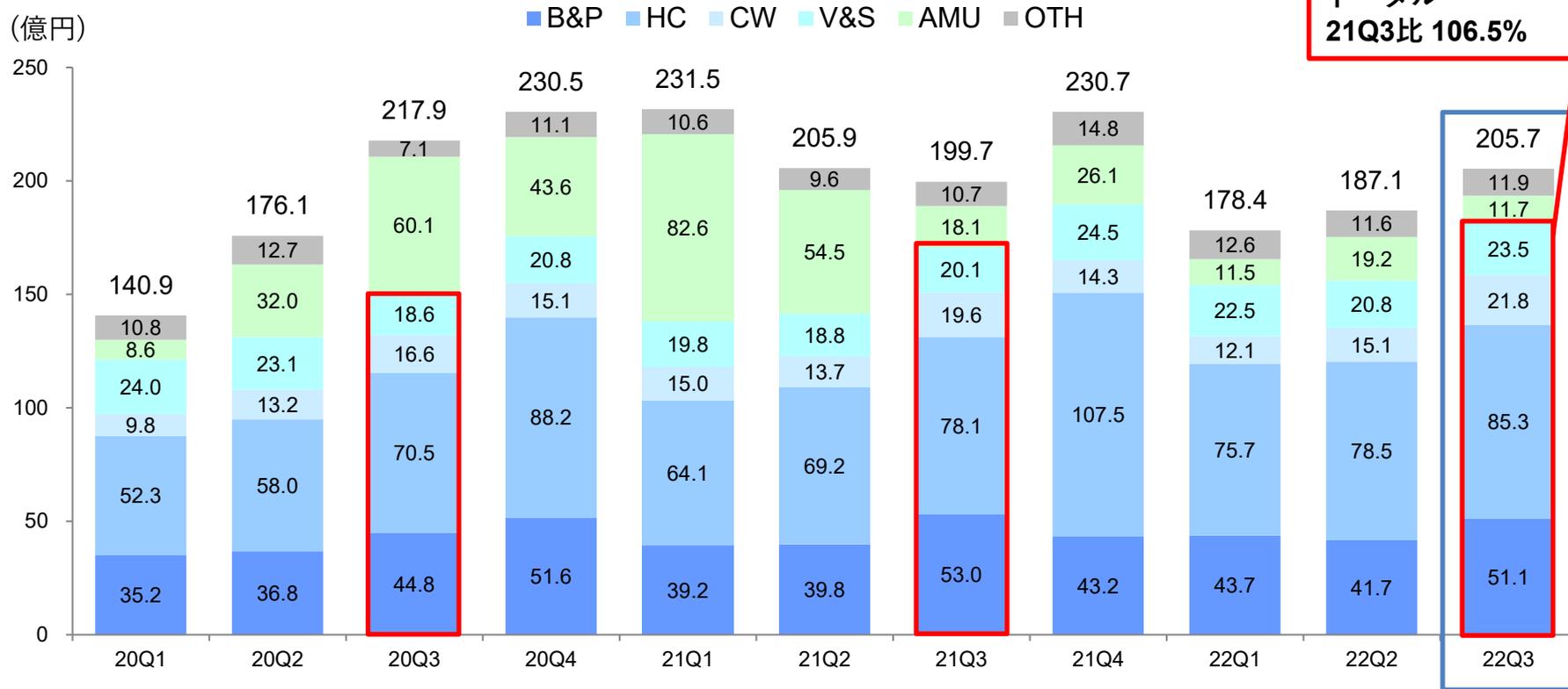
- **B&P**： ドイツでの販売が堅調に推移し、前年同期を上回る
- **ヘルスケア**： 欧州及び国内の堅調な販売に加え、北米でも需要の回復が見られ、販売増
- **クリエイティブワーク**： 新製品の販売が好調に推移し、22Q1での供給不足による影響を挽回
- **V&S**： 海外での監視用途向けの販売、国内での航空管制向け・船舶用途向けの販売が増加
- **アミューズメント**： 新規則機への入替需要の反動減により大幅減収
- **その他**： アミューズメント用ソフトウェア受託開発等の売上高が増加

営業利益増減要因



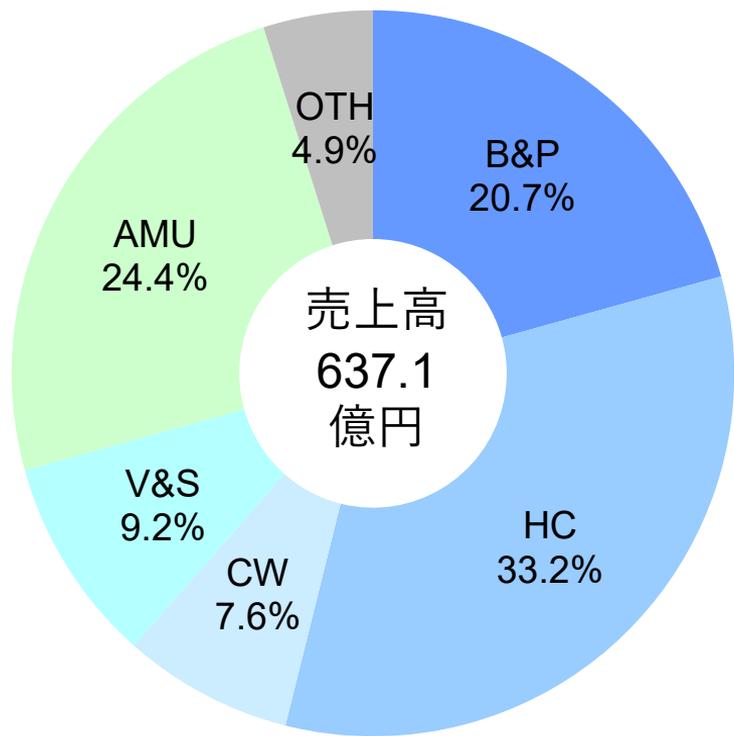
- **為替影響** 円安により増収効果をもたらした一方、ドル高によるコスト増が減益方向に作用
- **減収影響/売上総利益率の低下** アミューズメントの減収に加えて材料価格の上昇による
- **販売費及び一般管理費の増加** withコロナへの環境変化により広告宣伝活動が再開したこと等による

市場別売上高推移

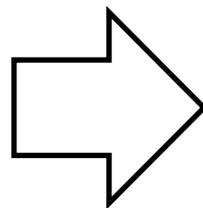
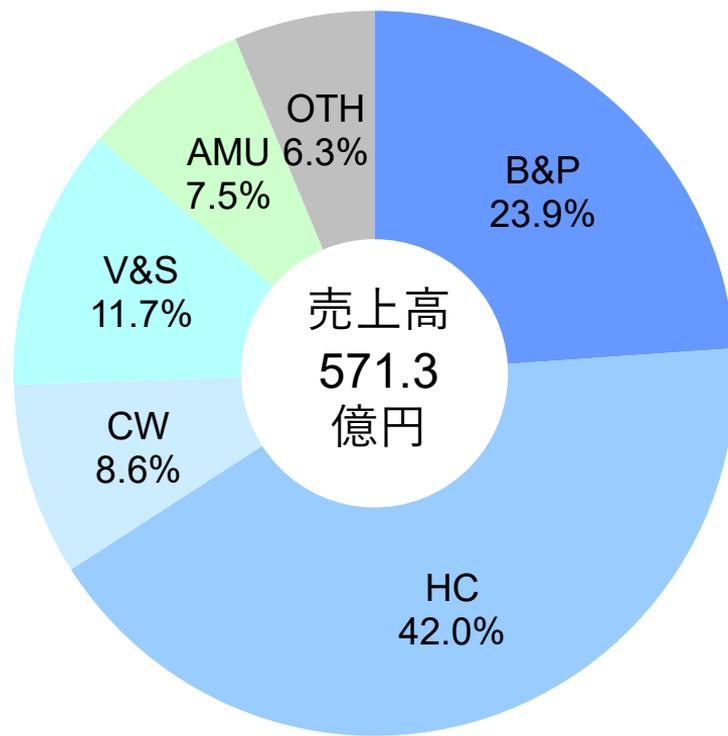


市場別売上高構成比

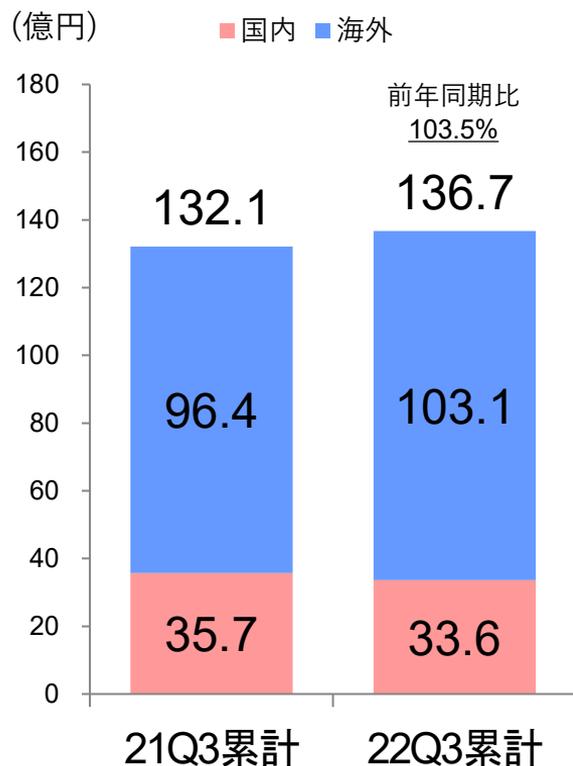
21Q3累計



22Q3累計



市場別売上高：B&P (Business & Plus)



海外

- ドイツでの販売が堅調に推移し、前年同期を上回る
- 22Q3に入りIT市場における設備投資の先送りも一部見受けられた

国内

- 流通段階において在庫を調整する動きが見られ、前年同期を下回る売上高
- 22Q3では、法人向け中心に高付加価値製品の販売が伸張



FlexScan EV2781

市場別売上高：ヘルスケア



診断用途

- 海外では、欧州での堅調な販売継続に加え、北米での需要が回復
- 国内では、前期からの設備投資需要が継続

手術室用途

- 国内での販売が増加

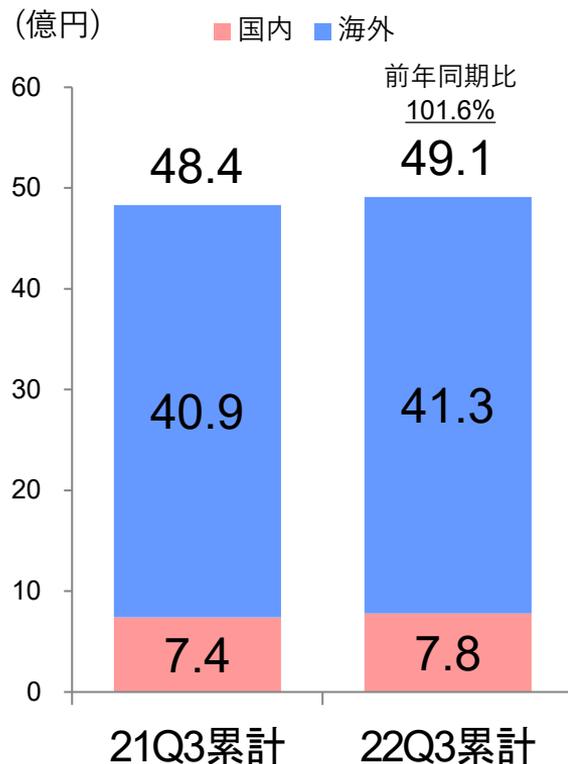
内視鏡用途

- 欧米を中心に好調に推移



CuratOR EX5542/EX4942/EX4342

市場別売上高：クリエイティブワーク



海外

- 22Q2に本格的に開始した新製品の販売が好調に推移
22Q1で十分な供給ができなかった影響を挽回し、
前年同期を上回る販売

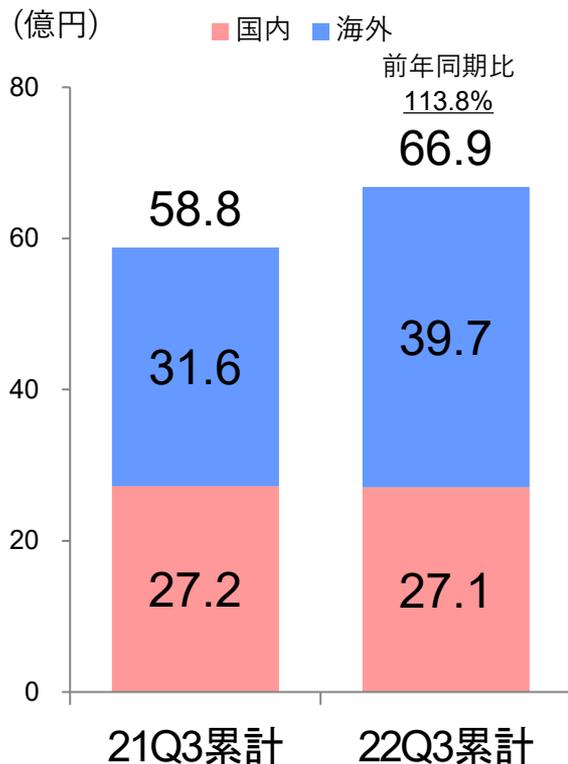
国内

- 新製品効果により前年同期を上回る販売



ColorEdge CG2700X / CG2700S

市場別売上高：V&S (Vertical & Specific)



航空管制用途

- 国内での販売が増加

船舶用途

- 新規造船需要もあり国内販売復調

セキュリティ・監視用途

- EVS(EIZO Visual Systems)として展開する監視用途向け IPソリューションの導入が進み、北米を中心に好調な販売

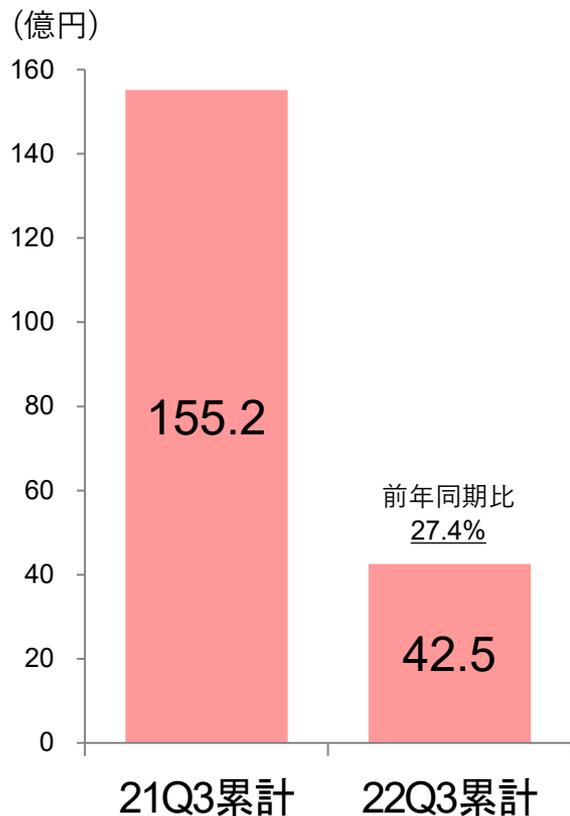
その他

- 国内では、顧客要求に対応したカスタマイズ製品の販売減
- 海外では、COVID-19による影響を受けていた自動車産業を始め各種産業向けの販売が回復



DuraVision FDF2382WT-A

市場別売上高：アミューズメント



- 前期に集中した新規則機への入替需要の反動減により前年同期を大きく下回る売上高
- 遊技人口の減少と店舗数の減少等による業界全体の規模縮小が進み、厳しい市場環境が継続



©SANYO BUSSAN CO.,LTD.

連結貸借対照表

(百万円)

	22年3月末	22年12月末	増減
流動資産	80,510	77,296	▲3,213
現預金	13,887	9,658	▲4,229
売掛金等 ※	24,814	17,799	▲7,014
棚卸資産	31,749	47,705	+15,956
有形固定資産	20,173	20,982	+808
無形固定資産	841	757	▲84
投資その他の資産	53,933	46,811	▲7,121
資産合計	155,459	145,848	▲9,611
流動負債	20,726	18,227	▲2,498
固定負債	16,150	14,259	▲1,891
純資産	118,582	113,361	▲5,221
負債純資産合計	155,459	145,848	▲9,611

※受取手形、売掛金、契約資産及び電子記録債権

棚卸資産

調達難に対応し、原材料在庫及び製品在庫を戦略的に積み増し

投資その他の資産

投資有価証券の時価下落及び売却による

純資産

自己株式の取得 ▲2,821百万円

1. 2023年3月期第3四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

3. 参考資料

2023年3月期 業績の見通し

(百万円)

	21F	22F計画	前期比
売上高	86,789	82,000	94.5%
売上総利益	30,859	25,600	83.0%
売上総利益率	35.6%	31.2%	▲4.3pt
販売費及び一般管理費	19,560	20,200	103.3%
営業利益	11,299	5,400	47.8%
営業利益率	13.0%	6.6%	▲6.4pt
経常利益	12,110	6,200	51.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,794	5,700	73.1%

	21F	22F1	22F2計画	22F計画	前期比
為替レート:USD	112.39円	134.03円	150.00円	142.02円	+29.63円
為替レート:EUR	130.55円	138.76円	146.00円	142.38円	+11.83円

ROA	7.9%	-	-
ROE	6.7%	-	-

2022年10月28日公表値より修正なし

連結営業利益への為替感応度(1円円安による影響額)

- USD：▲120百万円
- EUR：+170百万円

トピック①

インド販売子会社設立 重要市場と位置付けるインドでの販売活動をより一層強化

- インドにおいて100%子会社 EIZO Private Limitedを2023年2月に設立、2023年4月より業務開始予定

インドにおいても 特定市場でのNo.1へ

インド現地法人の設立により

- 顧客からの信頼向上
- 機動的な販売施策
を実現、販売拡大

インドにおける 産業市場への取組み強化

メーカーである当社が
直接販売することで

- 顧客との長期的な関係構築
- 迅速なカスタマイズ・
サポート体制整備
が不可欠な産業市場を開拓

当社の強みである グローバル販売体制強化

60ヶ国を当社子会社による
直販体制でカバー

- ▶ 海外11社目として
インド販売子会社を設立
グローバル販売網を強化

トピック②

RBA監査でプラチナ・ステータスを取得 グローバルサプライチェーンにおけるサステナビリティへの取組みを強化

- 当社本社工場及び子会社・EIZOエムエス(株)七尾工場がRBA監査(*)において、**最上位であるプラチナ・ステータス**を取得

(*) グローバルサプライチェーンにおけるCSR推進を目指す企業連合・RBA(Responsible Business Alliance)の認証機関によるRBA行動規範の遵守状況の確認・評価を実施する監査(VAP監査)

RBA行動規範に沿った当社の取組みが評価

2022年における具体的な取組み:

- 重要な社会的責任の一つである当社の人権尊重の考え方を改めて定める**EIZOグループ人権方針の制定**
- サプライヤーに対して当社サプライヤー行動規範の遵守及び自主監査へのご協力を求めることを規定化



トピック③

アメリカの子会社が新社屋に移転



- EIZO Rugged Solutions Inc.(※)が新社屋を取得し、2023年1月に移転・業務開始

※ 航空管制用をはじめとした特定市場向けグラフィックスボードの開発、生産、販売及び関連サービスを提供

開発・生産・業務エリアの拡大

- 従来の3倍となる延床面積
- 開発プロセス効率化を実現する試験評価ラボ・会議室
- MIL規格製品開発のための試験室
- 生産スペース・倉庫

更なる事業成長へ

ターゲット市場の需要増を見据えた生産能力増強、幅広い製品ラインナップの提供の継続により今後とも顧客・パートナーの要望に対応

1. 2023年3月期第3四半期決算

2. 業績の見通し / 事業上のトピック

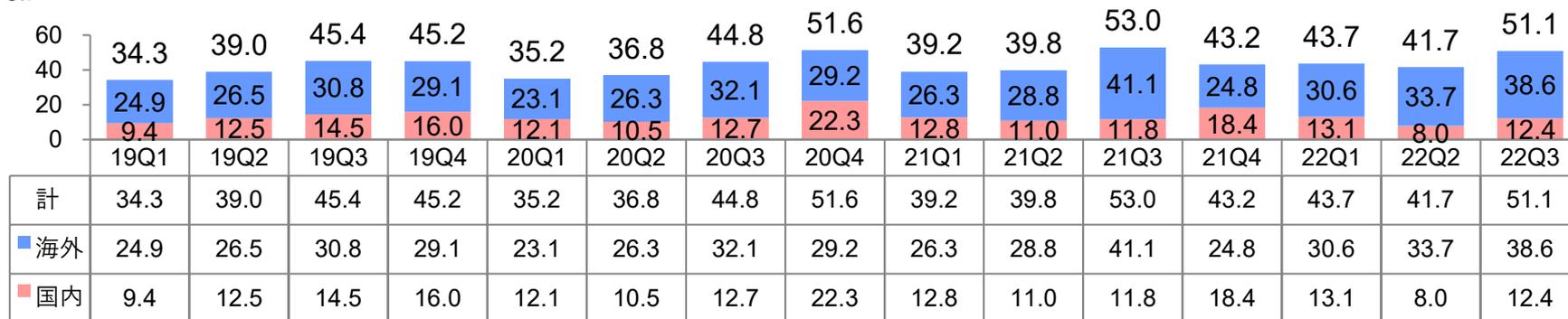
3. 参考資料

市場別売上高推移 B&P / ヘルスケア

(億円)

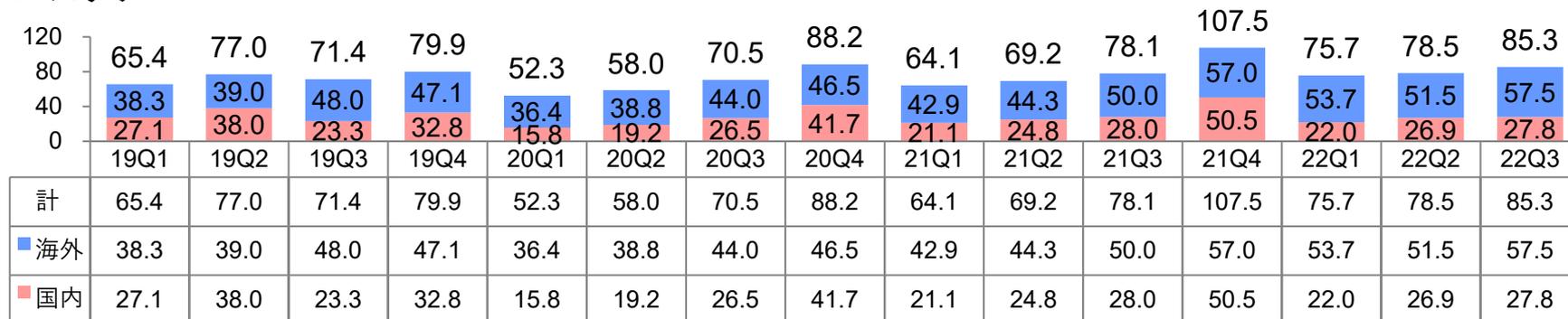
B&P

■ 国内 ■ 海外



ヘルスケア

■ 国内 ■ 海外



市場別売上高推移 クリエイティブワーク / V&S

(億円)

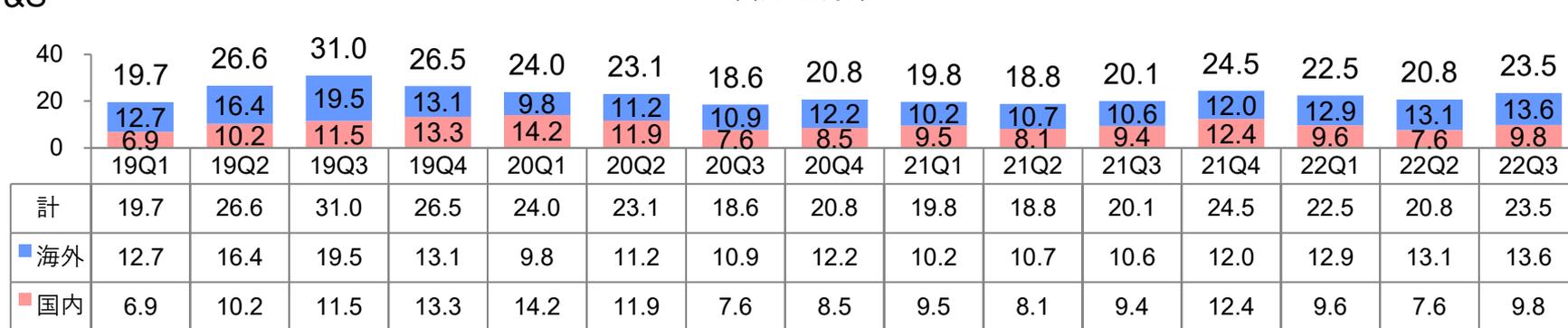
クリエイティブワーク

■ 国内 ■ 海外



V&S

■ 国内 ■ 海外



市場別売上高推移 アミューズメント / その他

(億円)

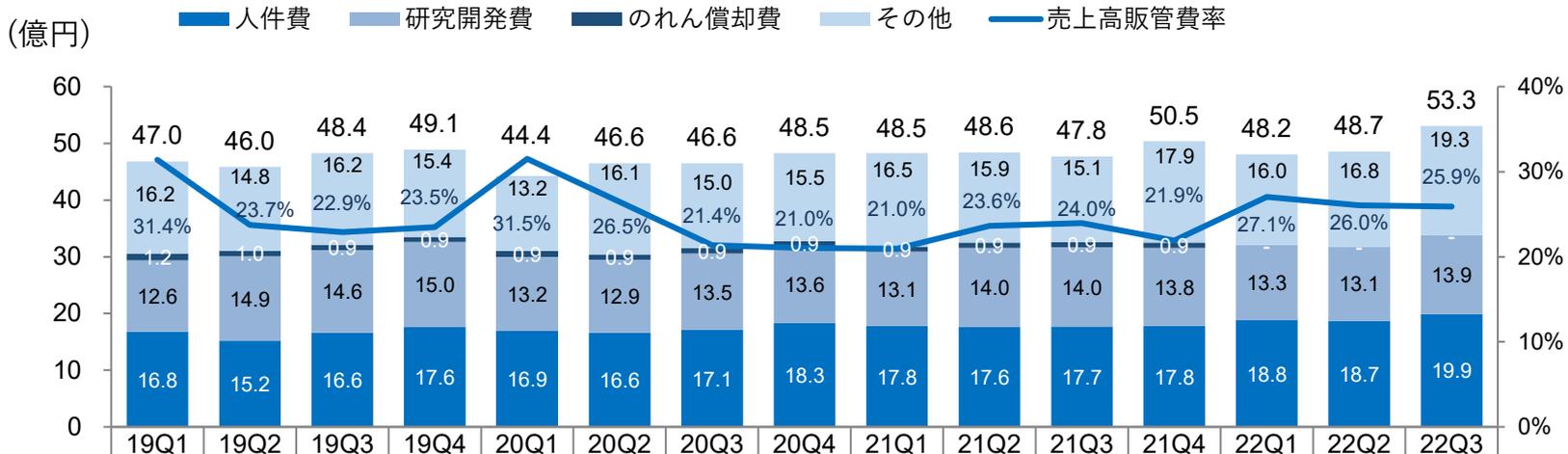
アミューズメント



その他



販売費及び一般管理費推移



計	47.0	46.0	48.4	49.1	44.4	46.6	46.6	48.5	48.5	48.6	47.8	50.5	48.2	48.7	53.3
その他	16.2	14.8	16.2	15.4	13.2	16.1	15.0	15.5	16.5	15.9	15.1	17.9	16.0	16.8	19.3
のれん償却費	1.2	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	-
研究開発費	12.6	14.9	14.6	15.0	13.2	12.9	13.5	13.6	13.1	14.0	14.0	13.8	13.3	13.1	13.9
人件費	16.8	15.2	16.6	17.6	16.9	16.6	17.1	18.3	17.8	17.6	17.7	17.8	18.8	18.7	19.9
売上高販管費率	31.4%	23.7%	22.9%	23.5%	31.5%	26.5%	21.4%	21.0%	21.0%	23.6%	24.0%	21.9%	27.1%	26.0%	25.9%



Visit us online
www.eizo.co.jp